



# 6月 ほけんだより



こども未来局  
保育・子育て推進部

令和8年6月1日  
菅保育園

夏を感じる日が多くなってきました。暑さや梅雨に負けずに健康に過ごせるよう、お子さんの様子と一緒に見ていきましょう。

## ～6月4日はむし歯予防デーです～



むし歯予防デーに合わせて、この時期に歯科健診を行う保育園も多くあります。歯科健診の目的はライフステージによっても変わっていきませんが、乳幼児の年齢の場合、歯科医は以下の項目について診ていることが多いです。

### ■むし歯予防・早期発見

- ・歯磨きを丁寧にしてくださいと指摘されたら、保護者による仕上げ磨きを、より丁寧にしましょう。奥歯や奥歯のみぞ、歯と歯の間を念入りに磨きましょう。
- ・むし歯は自然治癒しません。もし、むし歯が見つかったら、早めに受診しましょう。

### ■歯並びの状態

・指しゃぶりは、成長とともに減少していきませんが、3歳を過ぎたころから歯並びに影響してくる可能性があるといわれています。徐々にやめていけると良いですね。無理やりではなく、お子さんの楽しいと感じるような活動に誘う、例えば、ブロックやぬりえなど手を使う遊びなどお子さんにあった方法を見つけましょう。

治療だけではなく、予防のために歯科を受診することはとても大切です。歯が生え始めたら、お子さんにあった歯科医院を見つけられるといざというとき安心ですね。

\* 歯科健診：6/11 (木) 9:30～ 11:00 全園児

\* 0～3歳児クラスは、歯科医師や職員の膝上に寝る姿勢で健診を行います。前日までにバスタオル1枚ご持参ください(クラス担任が集めます)。

\* 当日朝は、丁寧に歯磨きをして登園してください。

\* 健診の結果は、異常や園医よりコメントがあったお子さんのみ、職員またはコドモンの連絡帳等にてお知らせさせていただきます。異常のなかったお子さんにはお知らせいたしません。

## 大出先生の健康コラム

### 《麻しん(はしか)》



日本は2015年に麻しん排除を達成しましたが、2025年から2026年にかけては感染者が急増しました。患者の多くは10～30代で、2回のワクチン接種を完了していない、または接種歴が不明な人が目立ちます。感染は家庭や学校、医療機関、公共交通機関など日常生活の場で拡がっており、感染経路が特定できない例もあります。麻しんウイルスに感染すると10～12日後に発熱、咳、くしゃみ、目の充血、目やに、口の中に白い斑点が出ます。熱はいったん下がりますが半日くらいして再び高熱、顔面、体幹部に赤い発疹が出ます。発熱は6～8日位続きます。発疹の出現後は3～4日で解熱しますが、肺炎、脳炎を合併することがあります。周囲に感染する期間は発疹の出た前後4日間くらいです。予防には流行拡大への警戒と、2回のワクチン接種が重要です。

園医 大出 集